

「技術伝承＝ベテランによるマニュアル整備」は勘違い  
設計改革の勘所・正しいアプローチを学ぶ

# 設計標準化と「正しい」 技術伝承による設計力向上講座

**日時** 2018年8月2日(木) 10:00～17:00  
(9:30 受付開始、休憩 12:30～13:30)

**主催**  日刊工業新聞社

**会場** 日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム  
東京都中央区日本橋小網町 14-1 (住生日本橋小網町ビル)

**受講料** 43,200円(資料含む、消費税込)  
\*同時複数人数お申し込みの場合2人目から38,880円



## 日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム

東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)

### 【アクセス】

東京メトロ日比谷線『人形町駅』A2出口 徒歩3分、都営浅草線『人形町駅』A6出口 徒歩3分

東京メトロ半蔵門線『水天宮前駅』8番出口 徒歩4分

※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。

※講義の録音・録画は固くお断りいたします。

### ●申込方法

申込書を郵送又はFAXにて下記にお申し込みください。ホームページからお申し込みできます。(http://corp.nikkan.co.jp/seminars/) 受講料は銀行振込で受講票及び請求書が到着次第、開催日1週間前までにお支払いください。

なお、キャンセルにつきましては開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。振込手数料は貴社でご負担願います。

口座名義	りそな銀行	東京営業部	当座	656007
(株)日刊工業新聞社	三井住友銀行	神田支店	当座	1023771
	みずほ銀行	九段支店	当座	21049
	三菱UFJ銀行	神保町支店	当座	9000445

### ●申込先 日刊工業新聞社 業務局 イベント事業部 技術セミナー係

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)

TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215

e-mail : j-seminar@media.nikkan.co.jp

## 受講 申込書

### 8/2 設計標準化

お申し込みは **FAX 03-5644-7215**

■受講料：43,200円(資料含む、消費税込) \*同時複数人数お申し込みの場合2人目から38,880円

※振込手数料は貴社にご負担ください。

会社名		業種	
氏名	フリガナ	TEL	
	部署・役職	FAX	
所在地	〒		
	E-mail :	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は チェックをしてください。 <input type="checkbox"/>	

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。

No.180190

### 個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。

なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp

# 開催主旨

設計を効率化したい。設計を改革したい。でも、設計現場は忙しく、あまり協力的ではない。また、今の設計ではダメという危機感はあるが、何をすべきかわからない。改革の糸口が見えない企業は多いです。本講義では、設計業務の見直し、ナレッジの棚卸し、開発力強化、標準化、図面管理、部品表、3D-CAD など、やるべきテーマは多岐にわたる設計改革をどのようなコンセプトで進めるべきか、効果的なアプローチを解説いたします。

特に、設計でコストの約80%が決まってしまう。だからこそ、品質とコストを両立させる設計が重要となり、そのためにもナレッジを可視化し、設計の標準化が急務となっています。しかし、多くの企業では、ナレッジ可視化も設計標準化も失敗を繰り返し実現できていません。それは取り組みのアプローチに問題があるのです。正しいアプローチを理解すれば、摺り合わせ力を活かしながら標準化を実現し、原価力を身につけることができます。仕様管理・ナレッジ可視化・設計標準化・BOM・デザインツールのあり方など今こそ行すべき設計改革の道筋を解説いたします。

**対象者** ・製造業 ・経営者(CTO、CIO、CFO) ・開発部門・設計部門・設計管理部門の管理職から担当 ・情報システム部門の管理職から担当  
・経営改革・業務改革に携わっている管理職から担当

## 講師

プリベクト 代表 技術経営コンサルタント **北山一真氏**

**[略歴]** 技術経営コンサルタント

IT系コンサルティング会社、製造業系コンサルティング会社ディレクターを経て、2010年にプリベクトを設立。競争力ある製品／もうかる製品の実現のため、設計と原価の融合をコンセプトにした企業変革に取り組む。業務改革の企画／実行、IT導入まで一気通貫で企業変革の実現を支援。プロフィットデザイン、設計高度化、設計ナレッジマネジメント、製品開発マネジメント、原価企画、原価見積、開発購買、ライフサイクルコストリング、意思決定管理会計、BOM、3D-CAD、PLMなどのコンサルティングを手がける。

**所属**

・東京大学ものづくり経営研究センター ものづくり管理会計研究会員 ・日本管理会計学会員  
・日本原価計算研究学会員 ・日本組織会計学会員 ・J-Cost 研究会員

**著書**

・赤字製品をやめたら、もっと赤字が増えた！儲かる製品を実現するコストマネジメント (日刊工業新聞 2009年)  
・ものづくり復活の会計術 (日経BP社 ものづくりTech-on 2010年)  
・再考・原価低減 コストのわかる設計者になろう (日刊工業新聞社 機械設計 2010年-2011年)  
・ITアーキテクトのやってはいけない 第4章業務分析、要件定義 (執筆協力 日経BPムック 2011年)  
・プロジェクト・マネージャの「やってはいけない」 (執筆協力 日経BP社 ITpro 2012年)  
・プロフィットブル・デザイナー利益獲得設計ー (日経テクノロジーオンライン 2015年) など多数

## プログラム

### < 概論編 >

#### I. 設計改革の正しいアプローチを知る

1. 設計改革はなぜ難しいのか
2. 自己流の「改革ごっこ」をやめよう
3. 改革は事例よりコンセプトが重要 (3つのコンセプト)

#### II. 設計標準化と技術伝承の正しいアプローチを知る

1. 設計標準化・モジュール化・部品共通化は誤解だらけ
2. 図面標準化は競争力を奪うことを知る
3. 「技術伝承＝ベテランによるマニュアル整備」は勘違い
4. ナレッジ可視化・蓄積・活用のコツとは
5. 設計思想の標準化を目指す

### < 実践編 >

#### III. 要求仕様の体系化

1. 本当に顧客ニーズを理解しているか

#### 2. 仕様管理表の作成のコツ

#### IV. 設計ナレッジの可視化と設計標準化

1. 忙しい中でナレッジを可視化する方法
2. ナレッジは改訂こそが全て (改訂運用のコツ)
3. 開発 BOM と設計諸元表の作成のコツ
4. 設計標準化とデザインツールの構築ポイント

#### V. 設計の自動化・高度化

1. 相似形設計は自動化できる
2. BOM のあるべき姿とは
3. 設計高度化の仕組み作りと、設計力の定量化

#### VI. 設計による原価見積り

1. 設計における原価見積りはなぜ難しいのか
2. 設計者に原価意識を持たせるコストテーブルを構築
3. 品質とコストの両立点は、コストファクターの可視化